

PRESTIGEINTERNATIONAL

INTERIM FINANCIAL REPORT

2023 | 2023年4月1日～2023年9月30日



新時代に向けて 歩み出す

代表取締役
社長執行役員グループCEO

玉上 進一

ご挨拶

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社グループの第38期上期（2023年4月1日～2023年9月30日）の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2021年5月に発表した3カ年の中期経営計画も最終年度を迎えました。「当社グループでしか実現できないサービス領域の創造」、「安定的・継続的成長」、「地方都市での雇用の創造・維持」、「インクルーシブな職場環境の創出」の4つの柱を軸として策定した中期経営計画のもと、PIらしいサービス価値創出とともに目標達成に向け取り組んでおります。

上期におきましては、2024年開設予定の岩手BPOフォートレスの建設が進んでいます。当社グループ初の太平洋側の拠点であることや、カーボンニュートラルのモデル施設として位置付け、再生可能エネルギー利用を中心とした環境に配慮した施設であることなど、様々な初の試みが盛り込まれています。本開設に先駆け、現在は岩手BPO一関ランチが順調に稼働しております。

国内外において社会や事業環境の目まぐるしい変化を背景に、当社グループは時代のニーズに応じたサービス開発・提供に取り組んでおります。これまで培ったノウハウを生かしつつ、社会の問題解決を通して貢献できる企業として継続的な成長を目指すとともに、今後も皆様の期待に応えるべく、全社を挙げて企業価値向上を目指し邁進する所存です。株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主還元

基本方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題の一つとして位置付けており、2021年5月に公表いたしました2022年3月期からの中期経営計画において、自己株式の取得を通じた総株主還元として「総還元性向30%以上」を目標として掲げており、基本方針に則った利益還元策を決定することとしております。

2024年3月期の取り組み

当期利益計画における上期の進捗及び株主の皆様への利益還元と市場環境・資本の状況を総合的に勘案した結果、自己株式の取得を実施することといたしました。

(1) 取得対象株式の種類： 当社普通株式	(4) 取得期間： 2023年11月6日～2024年1月12日
(2) 取得する株式の総数： 800,000株（上限） ※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合0.62%	(5) 取得方法： 東京証券取引所における市場買付け
(3) 株式の取得価額の総額： 5億円（上限）	

下期においても、利益計画の進捗を勘案しつつ更なる株主還元策の強化を検討していく予定であり、引き続き企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主還元の推移



※2019年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っています。1株当たりの配当金は、株式分割後の基準で換算しています。

業績ハイライト

連結売上高につきましては、主力のオートモーティブ事業や金融保証事業及びグローバル事業が堅調に推移し、28,763百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

営業利益につきましては、カスタマー事業のワクチン関連業務の縮小等による減益分を既存事業の成長により吸収し、3,857百万円（前年同期比0.5%増）となりました。経常利益に関しましては、為替差損（109百万円）が発生しましたが、持分法による投資利益（185百万円）等により4,071百万円（前年同期比0.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,357百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

売上高(百万円)



営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)



1株当たり配当金(円)*



* 2019年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っています。1株当たりの配当金は株式分割後の基準で換算しています。

セグメント概況

オートモーティブ 自動車関連サービス



売上高 12,234百万円
前年同期比 9.7%増

営業利益 1,502百万円
前年同期比 13.1%増

ポイント

- ダイレクト系損保の契約台数の堅調な推移に加え、自転車向けロードサービスの成長が寄与し増収。営業利益についても、売上高の成長に伴い増益。

プロパティ 住宅・駐車場関連サービス



売上高 3,515百万円
前年同期比 10.5%増

営業利益 227百万円
前年同期比 24.2%増

ポイント

- ホームアシスト既存サービスの堅調な推移に加え、パークアシスト駆けつけ拠点新設等の投資完了、稼働率向上等による収益性改善により、増収増益。

グローバル 海外関連サービス



売上高 3,940百万円
前年同期比 17.5%増

営業利益 408百万円
前年同期比 16.0%増

ポイント

- 米国クレジットカード事業の支払手数料が増加したものの、クレームエージェントの対応エリア拡大、JHD^{*1}の利用増加、HCP^{**2}等のインフレに伴う価格改定等が進んだことにより、増収増益。

カスタマー コンタクトセンターサービス



売上高 4,300百万円
前年同期比 5.2%減

営業利益 776百万円
前年同期比 31.7%減

ポイント

- ワクチン関連業務縮小による減収となったが、課題のあったプロジェクトの成長により減収幅を抑制。また、売上高の減少及びコロナ禍で減少していたプロジェクトの業務増加に伴う人員補充等の原価上昇により減益。

金融保証 保証サービス



売上高 4,287百万円
前年同期比 33.5%増

営業利益 1,028百万円
前年同期比 30.7%増

ポイント

- グループ会社の株式会社イントラスト^{**3}が展開する家賃債務保証事業及び医療費用保証契約者数の堅調な推移に加え、既存サービス拡大により、増収増益。

IT IT関連サービス



売上高 183百万円
前年同期比 52.3%減

営業利益 21百万円
前年同期比 83.7%減

ポイント

- サブライチェーンマネジメントシステムのライセンスの解約及び検収の遅れに加え、前年度上期に検収が集中した反動により、減収減益。

ソーシャル 社会貢献サービス



売上高 300百万円
前年同期比 17.4%減

営業利益 △118百万円
前年同期比 ー

ポイント

- 女子バレーボールチームアランマール山形のV1昇格に伴いスポンサー収入が増加したが、戦力強化及び活動費用増加により、対前年同期比で赤字幅拡大。



* 1 JHD : ジャパニーズヘルプデスク <https://www.j-helpdesk.jp/> * 2 HCP : ヘルスクエプログラム <https://www.hcpg.jp/>

* 3 株式会社イントラスト <https://www.entrust-inc.jp/>

未来のモビリティ社会へ 動き出す

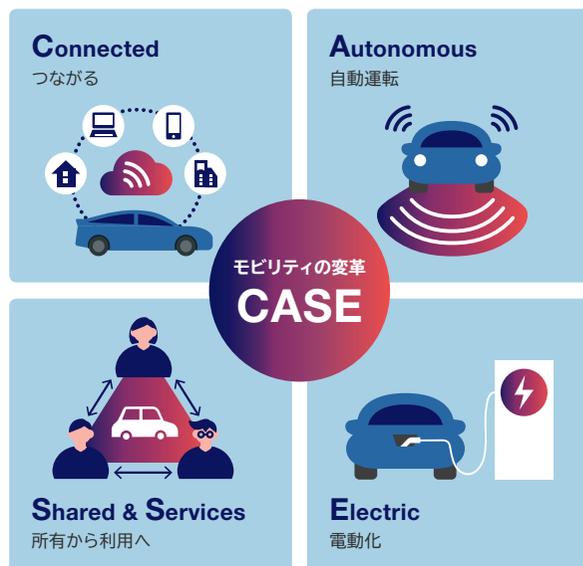


未来のモビリティ社会とは？

自動車業界は100年に一度の変革期と言われています。自動車業界にサービス提供している当社としても同様の認識を持ち、今提供しているサービスをドラスティックに変化させていく必要性を強く感じています。

昨今の自動車の大きな変革の一つとして、Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動化）、Shared & Services（シェアリング）、Electric（電動化）から成る「CASE」というキーワードがあります。自動車は様々なツールと繋がり、所有から利用に変化し、世界的な課題である脱炭素社会を実現するための電動化が一気に加速する時代に入出し、自動車は一つの豊かな移動手段であるモビリティという役割に変化しております。

当社はこの大きな変革期であっても「エンドユーザーのお困りごとを解決する」というコンセプトのもとに、既存事業の更なる成長と並行させ、CASEをはじめとした次世代モビリティ課題を解決するプラットフォームを提供してまいります。



私たちが描くこれからの事業

自動車の価値が大きく変わる中でお客様のニーズも大きく変化しています。安全安心なカーライフをお送りいただくため、これからご満足いただけるサービスを提供します。



石橋 宏明

上席執行役員
自動車メーカー・
ディーラーサービス部門管掌

経済の変化、クルマの構造変化に伴いエンドユーザーやクライアント企業のニーズも移行行く中、先を行く投資とソリューション開発でお客様の満足度向上を追求してまいります！



山上 拓也

上席執行役員
損害保険サービス部門管掌

自動車業界大変革期の多様なニーズに、独自視点の価値提供と新たな事業創造で応え、今後のモビリティ社会になくはならない存在になるよう取り組んでまいります。



高橋 誠

執行役員
リース・損害サービス部門管掌



EV

課題

充電ネットワークの普及と電欠時の対応

アクション

- 充電駆けつけサービス等によるEV走行の環境整備
- EV化の促進と脱炭素社会に向けたサービス創出



IoT

課題

コネクテッドカーや通信型ドライブレコーダー向けサービスの拡充

アクション

- 自動運転向けの遠隔監視や緊急通報等、オンラインサービスの拡大
- インシデントサポート等を含めた、遠隔操作によるトラブルシューティングの可能性探求

未来のモビリティへ 向けた取り組み

日産自動車との協定連携事項に 基づいたイベント開催

2023年3月に締結した連携事項①に基づく取り組みとして、9月に山形拠点・魚沼拠点で一般開放イベントを開催しました。展示会や講座の他、試乗会や給電デモ等、EV車両を用いた体験型のイベントを通し、従業員や地域の方々へ、EVの理解促進や啓発を行いました。



電動化

連携事項

- ① EVの普及促進による脱炭素化に関すること
- ② EVを活用した地域活性化に関すること
- ③ その他、両社が協議し必要と認めること



電動化



自動運転

「EV駆けつけ充電サービス」 全国47都道府県へ拡大

「EV駆けつけ充電サービス」は、EV（電気自動車）が走行中に電池切れしてしまう「電欠」を起こした際に現場へ駆けつけて充電し、短時間で自走を可能にするサービスです。2023年9月時点で充電機能を備えたレッカー車51台やポータブル充電器69台を配備しており、47都道府県での稼働体制が整っています。

自動運転向け「遠隔監視・ インシデント対応サービス」開始

グループ会社のプレミア・エイトが、東京海上日動火災保険と自動運転向け「遠隔監視・インシデント対応サービス」の提供を開始しました。同社とは以前より、通信機能付きドライブレコーダーを活用した緊急通報サービスの協業を行ってまいりました。今後も自動運転レベル4の社会実装を見据え、安心・安全な走行を支えるサービスを構築してまいります。



富山
カスタマー事業
ハシグチ
2020年
本社 新卒入社

本社
プロパティ事業
タケウチ
2020年
本社 新卒入社

本社
オートモーティブ事業
ハヤシ
2021年
本社 新卒入社

富山
オートモーティブ事業
イソガイ
2021年
富山 新卒入社

本社
グローバル事業
オフォリ
2023年
本社 中途入社

若手座談会

「自分らしく」「PIらしく」チャレンジしています！

当社グループには、多様な価値観を持つ従業員たちが様々な場面で活躍できる環境があります。「自分らしさ」「PIらしさ」を追求する5名の若手従業員に、想いや期待を語っていただきました。

※ 所属・役職は取材日時点のものです(2023年9月)

PIとの出会いから今までを教えてください

ハヤシ 学生時代に首都圏のコールセンターでアルバイトをしていたことがあり、仕事は東京に集まるもの、というイメージを持っていました。就職活動でPIを知り、地方にコンタクトセンターを構えて雇用を創造しているビジネスモデルに興味を持ったことが、入社のかっけです。

タケウチ もともと人の役に立つお仕事をしたいという想いがありました。就職サイトのオススメに出てきたことで、初めてコールセンター業界に興味を持ちましたが、企業理念にとても共感したことを覚えています。

ハシグチ タケウチさんと私は同期入社です。学生時代に四季報を見て、BPO事業というのを知りました。陰から社会を支える仕事であることや、グループ内にお客様の元へ直接駆け付けるフィールド部隊^{※1}を持っていて、より直接的にお客様のお困りごとを解決するようなサービス提案ができると思ったので、入社を決めました。

イソガイ 学生時代のサークル活動で、海外の観光客向けの道案内をしていました。自身の学生時代の経験や、仕事に求めるやりがいとマッチしていると感じ、また地元

富山に貢献できる会社で働きたいという想いもあったので、入社を決めました。

オフォリ 私は今回の参加者の中で唯一の中途入社なのですが、前職では、医療事務と人材管理を行っていました。入社してからすぐに、研修としてコンタクトセンターの業務を経験したことで、自身が営業で携わるサービスを深く知る機会となり、また、最前線で働く従業員のことを考えながら営業企画の仕事をしようと感じることができました。

ハヤシ 私も入社初年度は富山拠点でコンタクトセンター業務の研修を受けました。本社の新卒は皆さんBPO拠点で研修を受けますよね。1年先輩の本社新卒のハシグチさんは寮でも隣の部屋で、仲が良かったです。今日は富山拠点で活躍しているハシグチさんに久々に会えて嬉しいです！

ハシグチ そうですね！研修を終えて本社に戻った同期や後輩もいますが、私は今後のキャリアを見据えて富山BPOタウンに残りました。現場管理職の業務を日々学んでおり、これから営業や別の部門で働くときにも自分の糧になると思っています。若手のうちから様々な経験を積みかせてもらっていて、将来組織の中核を担っていく人材

育成の環境が整っていると感じます。

イソガイ 私も、性別年齢問わず活躍できる環境があると感じます。富山拠点の新卒として入社し、まだ他の拠点での勤務経験はないのですが、私が働くチームでも女性が多く活躍していますよ。

オフォリ PIにはWEPRO(女性活躍推進プロジェクト)^{※2}もありますよね。とても素敵な取り組みだと思っています。

ハヤシ 私の上司も女性です。また、まだ新卒入社3年目ですが自分の提案を聞いてくれる環境があり、年齢で発言を制限されたことが無いように感じています。

タケウチ 私は、新規事業の立ち上げに携わる機会がありました。幅広い業務に挑戦しながら、それを育成と捉えてくれて、自分の適性を磨いていける環境があると思います。

オフォリ チャレンジできる環境が整っていますよね。来月からは米国のグループ会社の業務もサポートすることが決まり、スピード感を持って多岐にわたるお仕事に携わられていることが、自分の特性にも合っていると思います。海外拠点に行けるチャンスがきたら、そのチャンスは絶対に逃したくないです！

※1 株式会社プレミアアシストによる現場駆けつけサービスのこと
<https://www.premier-assist.co.jp/>

※2 女性活躍推進(当社 web サイト)
<https://www.prestigein.com/sustainability/social/employee/women/>

今の目標や挑戦してみたいことは何ですか？

イソガイ 現在入社3年目で、数か月前にチームのスーパーバイザーになりました。今の目標は個々を見る力を養うことです。業務スキルを身に付けてチームを運営するだけでなく、オペレーターの声を聞き上げて、メンバーひとりと向き合うことでチームをより良く、そしてそれを通して会社に貢献したいです。

ハヤシ 今従事している営業の役割は、同期のイソガイさんたちが活躍しているBPO拠点と、クライアントを繋ぐポジションだと思っています。自身がBPO拠点で研修していた経験も踏まえて、ただ仕事を取ってくるのではなく、両者にとって、より良いサービスづくり、サービス提案ができるようになることが今の目標です。日々の業務の中でクライアントとの信頼を築き、PIがグループ丸となって、そして営業担当として自分のアイデアを形にしてお客様にサービスを提供したいです。

タケウチ 私も営業担当として同じ想いです。クライアントにとっても、BPO拠点でサービスを提供しているチームにとっても、両方に良い還元ができるような提案ができるようになりたいです。また、プレミアアシストのことも、PIグループが提供するサービスの一環として、もっと学んでいきたいと思っています。

ハシグチ コンタクトセンターとフィールド部隊、両方持っているのはPIの強みですよね。今はオートモーティブ事業やプロパティ事業で提供している、現場駆け付けも含めたサービスを、他の事業領域でサービス展開することに携わってみたいという想いがあります。前例のない独自サービスですが、自分の経験や強みを生かして、クライアント、サービスを提供するお客様、両方が本当に求めるワンストップサービスを作りたいです。

これからのPIに期待することは？

タケウチ 自分たちが持っていることをもっと共有していけるようになればいいと思います。幅広いサービス展開や様々な業界との繋がりが、フィールド部隊というリソースも持っている中で、各事業部が持っているものをお互いが共有し、シナジーを生んでいきたいですね。また、自分が所属する事業部以外の勉強会を開いたり、他の拠点に研修に行ったり、従業員がグループ全体のことを学ぶ環境も充実していけばもっと良いと思います。

イソガイ 環境構築や従業員の学びという観点で、私もBPO拠点で働いていて感じるがあります。拠点内では、コミュニケーションが活発に行われる環境は整っているのですが、オペレーターと管理者、BPO拠点間など、

立場や環境によってどうしても分断されてしまうシチュエーションはあると思っています。拠点長や部長と直接意見交換できる場を増やすなど、繋がりがや意見交換を強化していけたらいいと感じます。

ハヤシ 拠点のあるそれぞれの地域で、アランマーレ（PIが運営するスポーツチーム）の知名度はあっても会社やビジネスの知名度はまだ低いと思います。サービスの横展開や拠点間の繋がりを強化しながら、広く会社をPRする機会があると面白いと思います。

オフォリ 私は、自身のルーツであるアフリカなど、まだオフィスや拠点を構えていない地域にも、さらにグローバルにPIのサービスを拡大していけたら面白いと思います。WEPROの取り組みも、日本国内の従業員にとどまらず、海外拠点や全世界に広がっていったら素敵だと思います。私は今インバウンドサービスにも携わっているので、海外の女性活躍の現状について知ったり、様々な国の方々と関わったりすることで、事業の広がりに繋がったら嬉しいです。

ハシグチ 日々変化する社会課題の中で、まだPIが貢献できる部分はたくさんありますよね。壮大な話ですけれど、人が生まれてから死ぬまで、全部に携われる事業を展開できたら、企業としての存在意義が高まると思います。社会の不安を、もっと和らげられるような企業になっていきたいし、そこに私も貢献していきたいです。



新任役員メッセージ



社外

取締役 高木 いづみ

社会に必要とされる
企業であり続けるために

新たに社外取締役に就任いたしました高木いづみと申します。
私は、社外取締役就任以前は、当社社外監査役を務めておりました。
私が、当社とともに歩んでまいりました16年間で、当社が社会に誇れると
考えている主な点は以下の3点です。

1点目は、地方にBPO拠点を設置し、多くの人材の活躍の場を創り出して
いる点です。地元で採用された従業員の方が誇りを持って仕事に取り組み、
地元で根付いた企業となっていることは素晴らしいことと思います。

2点目は、顧客に付加価値を付けたサービスを提供することにより、顧客
から選ばれる企業であり続けている点です。

3点目は、取締役会の内外において社外役員が活発に意見を述べ、議論が
なされている点です。

本年の株主総会では、株主の方から建設的なご意見を多数いただき、当社
の成長への期待を感じました。

当社が社会に誇れる点を維持・発展させ、株主、顧客、従業員、地元の
皆様からの期待に応え、必要とされる企業であり続けられるよう、今後とも
社外取締役として自身に求められる役割を果たしてまいりたいと思います。

1999年4月	第一東京弁護士会に弁護士登録	2007年6月	当社社外監査役(2023年6月まで)
2004年6月	堀裕法律事務所(現堀総合法律事務所) 入所	2017年2月	公認不正検査士(CFE) 登録

重要な兼職の状況 (2023年9月30日現在)

- 堀総合法律事務所 パートナー弁護士
- 株式会社スピークパティ 社外監査役
- 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 理事
- 北沢産業株式会社 社外取締役



監査役 杉山 将

従業員が喜びを持って
働ける会社であってこそ

今期より常勤監査役に就任いたしました杉山将と申します。
私は秋田の出身で、2005年に当社秋田拠点に入社いたしました。以来主
に事業系の業務に従事し、拠点在任中は新規業務の立ち上げ、スキーム変更
による業務構築とその安定稼働、それに伴っての人材育成と管理に従事し、
また本社在任中はクライアント企業様との折衝交渉、事業部の収支管理に携
わり、様々な環境で現場の従業員と接し、俯瞰的あるいは直接的にBPO拠
点を見てまいりました。

それぞれの地域、拠点によって文化や価値観が異なります。しかしながら共
通して言えることは、従業員が満足しやりがいを持って喜んで働ける職場環
境でなければ、当社のコンセプトであるお客様の困りごとを手を差し伸べるこ
とはできません。

私のこれまでの経験が当社事業運営の一助となれるよう尽力いたします。
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

2005年12月	当社入社	2019年4月	株式会社プレステージ・コアソリューション 出向 第六事業部長
2015年10月	当社保険CRM事業部 事業部長代理	2022年11月	当社内部監査室所属

重要な兼職の状況 (2023年9月30日現在)

- 株式会社プレステージ・コアソリューション 監査役



社外

取締役 小枝 雅与

インナーブランディングの
向上を目指して

このたび、初めての社外取締役に就任いたしました小枝雅与と申します。
私はフリーアナウンサーとして情報収集やコミュニケーションの大切さ、PRディ
レクターに転身後はマーケティング、企画物販業では女性に特化した商材や腰痛
予防の椅子に関わる事で日々の姿勢による心身の健康の大切さを学ぶなど、こ
れまでに数多くの「人」に触れ、多岐にわたる経験をしてまいりました。

当社は「人でしかできないサービス」で「人」を起点に、大きく成長してきた組
織です。

10期連続で営業利益を増益してきた背景には、それぞれの地域に根付いて柔
軟に活動し、時代やニーズに合わせた働きやすい環境の整備や、日々、クライア
ントの「お困りごと」を支援する事で培われた多くの経験と叡智の積み重ねがあり、
まさに「人材」が「人財」になっている賜物ではないでしょうか。

「人」が成長することで企業が成長する。こうした好循環で企業価値は向上し
ていきます。

当社の取締役会では様々な重要事項や案件に対する方針が、実に丁寧に且つ細
やかに討議されており、価値創造企業としての「人財」による強みと勢いを感じます。

微力ですが、私も今まで築いてきた「人」との大切なネットワークを活かし、
社運の隆盛の一助となりますよう誠心誠意、尽力いたします。

1986年4月	圭三プロダクション 所属	1993年4月	同社 取締役
1989年4月	株式会社トレインインターナショナル 入社	2000年4月	株式会社トレイン 取締役

重要な兼職の状況 (2023年9月30日現在)

- 株式会社トレイン エグゼクティブディレクター



社外

監査役 小野 傑

持続的な成長と
企業価値の向上を目指して

新たに社外監査役に就任しました小野傑です。長年にわたる弁護士として、
また大学での教職者としての経験、様々な業種の社外取締役・監査役として
の経験を生かし、一方で、そうした既成の枠組みにとらわれない自由で柔軟
な発想も心がけ、当社が持続的な成長と一層の企業価値の向上のストーリー
を描き実践できるよう全力で取り組みたいと思います。

また、当社の業務執行に重要な役割を果たす役員について、職務執行や
意思決定が適法適正であることはもとより、透明性を持って迅速かつ果敢に
行われているか監査し、そのための適切なガバナンス体制の構築と変革を心
がけたいと思います。

当社が、長期的な視野に立った企業活動を通じて、株主のみならず取引先、
取引先の顧客、地域社会、とりわけ従業員も含む多様なステークホルダーに
対して、持続的な貢献を果たすことにより、当社の社会的な意義・役割がよ
り一層社会に認知されるよう、社外監査役として尽力する所存です。

1978年4月	東京弁護士会に弁護士登録	1985年7月	同事務所パートナー
1983年6月	ニューヨーク州弁護士資格取得	2007年7月	同事務所代表パートナー
1984年2月	西村眞田法律事務所(現 西村あさひ法律 事務所・外国法共同事業) 入所		

重要な兼職の状況 (2023年9月30日現在)

- 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 オブカウンセル
- 東京大学 客員教授
- 横河電機株式会社 社外監査役
- 一般社団法人 証券化・流動化協議会 理事長

サステナビリティ

来春、 岩手BPOフォートレス始動

当社が初めて太平洋側に開設するBPO拠点、「岩手BPOフォートレス」。

建物は奇岩、甌穴や滝と約2キロメートルにわたって続くダイナミックな景観の国の名勝天然記念物に指定されている「巖美溪」をモチーフにしております。

施設はゆったりとした時間を過ごせるカフェテリア、子供を近くに感じ、安心して働ける企業内保育園があり、自然光が差し込み緑に癒されるオフィス空間には将来的に500名の従業員が活躍できる環境が整っています。

また、カーボンニュートラル拠点として再生可能エネルギー（太陽光）発電のため従業員駐車場のカーポート屋根部分に太陽光パネルを設置、消費電力の自給自足を目指します。

巖美溪の個性的な巨岩から「人々の多様性」、美しい溪流から「人々の交流」をインスパイアした「岩手BPOフォートレス」。

PIIはここから新たな企業価値を創造してまいります。

回廊

休憩時間もゆったりと過ごせる広々としたリラックスエリアを配置。



カフェテリア

外の景色が一望できるスペースには110席を用意。気候の良いシーズンには一部テラス席での食事も可能。



太陽光パネル

従業員駐車場のカーポート屋根部分に太陽光パネルを設置。

エントランス

岩肌をモチーフにした天井高5m以上もあるダイナミックなエントランスがお客様をお迎えします。



施設概要

所在地	岩手県一関市真柴字矢ノ目沢
操業開始	2024年春（予定）
座席数	約500席
投資額	約27億円
構成設備	執務室、研修室、カフェテリア、企業内保育園、宿泊棟、トレーニングスタジオ、UPS、自家発電機 等
総敷地面積	約51,380m ²

各BPO拠点で進めています。 再生可能エネルギー&カーボンニュートラルガス。

PIグループは2022年5月にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に賛同を表明し、グループ全体としては2030年までにCO₂排出量50%削減、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目標に掲げております。（2020年度対比）

カーボンニュートラル達成へ向けて、現在稼働中の主要BPO拠点では3県5拠点でCO₂排出量を削減することのできるエネルギーの導入を行っています。



拠点名	導入エネルギー	導入時期	効果 (2020年度対比)
 富山BPOタウン	日本海ガス株式会社「カーボンニュートラル都市ガス」	2023年1月	ガス使用に伴うCO ₂ 排出量実質100%削減
	北陸電力株式会社「かがやきGreen」	2023年4月	電力使用に伴うCO ₂ 排出量実質100%削減
 山形BPOパーク	東北電力株式会社「やまがた水力プレミアム」	2023年1月	電力使用に伴うCO ₂ 排出量100%削減
 秋田BPO にかほキャンパス	東北電力株式会社 地産地消型CO ₂ フリー電力プラン「あきたEネ!オプション水力100%」	2023年4月	電力使用に伴うCO ₂ 排出量100%削減
	にかほガス株式会社「Jクレジットを活用したカーボンニュートラル都市ガス」	2023年4月	ガス使用に伴うCO ₂ 排出量実質100%削減
 秋田BPO 横手キャンパス	東北電力株式会社 地産地消型CO ₂ フリー電力プラン「あきたEネ!オプション水力100%」	2023年6月	電力使用に伴うCO ₂ 排出量100%削減
	東部液化石油株式会社「カーボンニュートラルLPガス」	2023年7月	ガス使用に伴うCO ₂ 排出量実質100%削減
 秋田BPOメイン キャンパス	東北電力株式会社 地産地消型CO ₂ フリー電力プラン「あきたEネ!オプション水力100%」	2023年9月	電力使用に伴うCO ₂ 排出量100%削減

人財関連データ

女性従業員比率※1 **73.3%**

女性育児休業取得率※2 **120.0%**

女性管理職比率※1 **40.5%**
(2023年度目標50%)

男性育児休業取得率※2 **58.3%**
(2022年度・2023年度の平均値目標20%)

女性育児休業復帰率※1 **97.8%**

※1 プレステージ・インターナショナルの従業員(4,126名)対象

※2 育児休業取得率は次の計算式で算出するため、取得割合が100%を超える場合があります。
該当期間内に育児休業を取得した従業員数÷該当期間内に出産または配偶者が出産した従業員数

会社概要 (2023年9月30日現在)

会社名	株式会社プレステージ・インターナショナル Prestige International Inc.
設立	1986年10月
資本金	16億01百万円
本社所在地	〒102-0083 東京都千代田区麹町二丁目4番地1
事業内容	ビジネス・プロセス・アウトソーシング
従業員数	4,933名(連結)
拠点	世界18カ国28拠点
URL	https://www.prestigein.com/

会社役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役	玉上 進一	監査役	吉田 範夫
取締役	関根 浩	監査役	杉山 将
取締役	吉田 奈央	監査役(社外)	原 勝彦
取締役(社外)	関 敏昭	監査役(社外)	小野 傑
取締役(社外)	高木 いづみ		
取締役(社外)	小枝 雅与		

株主メモ

事業年度	4月1日から 翌年3月31日まで	証券会社の 口座の場合	特別口座の 場合
定時株主総会	毎年6月	郵便物 送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
上記基準日	3月31日 ※その他臨時に必要な場合には、 あらかじめ公告いたします。	お取引の 証券会社に なります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
権利確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日	お取り扱い店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 ※諸手続きに関しましては、みずほ信託銀行株式会社のwebサイトをご参照の上、 行っていただきますようお願いいたします。		
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 0120-288-324 (フリーダイヤル) (ご利用時間 9:00~17:00 土・日・祝日・銀行休業日を除く)		
公告掲載方法	電子公告		

単元未満株式の買取については当社webサイトをご覧ください。
<https://www.prestigein.com/IR/stock/procedure.html>



株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 427,008,000株 株主総数 4,150名
発行済株式総数 128,676,300株

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社タマガミ インターナショナル	35,561,400	27.64 (27.76)	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE UKUC UCITS CLIENTS NON LENDING 10PCT TREATY ACCOUNT	3,077,100	2.39 (2.40)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	19,186,800	14.91 (14.98)	J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381572	2,505,100	1.95 (1.96)
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	5,552,000	4.31 (4.33)	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND	2,441,000	1.90 (1.91)
GOLDMAN,SACHS & CO.REG	4,923,060	3.83 (3.84)	GOVERNMENT OF NORWAY	3,524,500	2.74 (2.75)
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	3,637,300	2.83 (2.84)	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,282,848	1.77 (1.78)

※ () 内の数値は発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合

所有者別株式分布状況 (2023年9月30日現在)



■ 金融機関	27,710,300株 (21.53%)
■ 金融商品取引業者	1,416,388株 (1.10%)
■ その他国内法人	36,574,200株 (28.42%)
■ 外国法人等	51,463,288株 (39.99%)
■ 個人・その他	10,931,416株 (8.50%)
■ 自己株式	580,708株 (0.45%)

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート実施期間は、本書の公開から約2カ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝
(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後
に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4290

いいかぶ 検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用の
URLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェブの
登録商標です。



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニ
ケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービ
スにより実施いたします。
<https://www.link-cc.co.jp>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させてい
ただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用する
ことはありません。

アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com